

D. 膜系の構造のコントラストを増強する

1. AとB 2. AとC 3. AとD 4. BとC
5. BとD 6. CとD

問 13. 超薄切片の鉛染色について正しいのはどれか。

- A. 染色液は通常中性にして用いる
B. 染色容器内に水酸化ナトリウムのペレットを入れた方が
良い
C. 染色に際して呼吸が直接あたらないよう注意する
D. 染色液はリボゾームや核質を良く染色する
1. AとB 2. AとC 3. AとD 4. BとC
5. BとD 6. CとD

問 14. 酢酸ウラニルについて正しいのはどれか。

- A. 購入する際には科学技術庁の許可が必要である
B. 飽和水溶液は約15%である
C. エタノールには溶けない
D. ネガティブ染色に使用できる
1. AとB 2. AとC 3. AとD 4. BとC
5. BとD 6. CとD

問 15. 光顕観察用に準超薄(厚切)切片をトルイジンブルーで染色する際に正しいのはどれか。

- A. 染色液を加温すると良く染まる
B. 0.1~1%溶液を用いる
C. 染色液を酸性にすると良く染まる
D. 脱樹脂しなければ染まらない
1. AとB 2. AとC 3. AとD 4. BとC
5. BとD 6. CとD

問 16. 超薄切片観察および撮影時の操作として正しいのは
どれか。

- A. ドリフトが生じたので照射スポットを大きくした
B. 倍率を変えると像が大きく移動したので電圧中心を合わ
せた
C. 同一部分の低倍率像を撮影してから高倍率像を撮影した
D. 低倍率で非点補正したので高倍率での補正は省略した
1. AとB 2. AとC 3. AとD 4. BとC
5. BとD 6. CとD

問 17. 超薄切片のコントラストを高める対策で正しいのは
どれか。

- A. カーボン蒸着する
B. 対物絞りの孔径を小さくする
C. 不足焦点(アンダーフォーカス)量を小さくする
D. 加速電圧を下げる
1. AとB 2. AとC 3. AとD 4. BとC
5. BとD 6. CとD

問 18. 生物試料の電子線照射による損傷を少なくするのに
有効な方法はどれか。

- A. 加速電圧を高くする
B. 電子線を収束して明るくする
C. 試料をできるだけ低温にする

D. 対物絞りの孔径を大きくする

1. AとB 2. AとC 3. AとD 4. BとC
5. BとD 6. CとD

問 19. 電子顕微鏡で撮影したフィルムをプリント(焼き付
け)するときの正しい作業手順はどれか。

1. 引伸機で露光→現像→定着→停止→水洗→乾燥
2. 引伸機で露光→水洗→現像→停止→水洗→乾燥
3. 引伸機で露光→定着→水洗→現像→停止→水洗→乾燥
4. 引伸機で露光→停止→定着→水洗→現像→水洗→乾燥
5. 引伸機で露光→現像→停止→定着→水洗→乾燥

問 20. 正しいのはどれか。

- A. 定着液はアルカリ性である
B. 号数の大きい印画紙ほどコントラストは低い
C. 現像液の温度が高いとカブリが生じやすい
D. 定着操作によりフィルム中の未現像銀が溶出される
1. AとB 2. AとC 3. AとD 4. BとC
5. BとD 6. CとD

問 21. ペルオキシダーゼの組織化学に用いる試薬として正
しいのはどれか。

- A. 過酸化水素
B. 塩化カルシウム
C. クエン酸鉛
D. 3,3'-ジアミノベンチジン
1. AとB 2. AとC 3. AとD 4. BとC
5. BとD 6. CとD

問 22. 電顕レベルの糖の検出に良く用いられる方法はどれ
か。

- A. メセナミン銀法
B. クエン酸鉛法
C. レクチン法
D. テトラニトロブルー-テトラゾリウム(TNBT)法
1. AとB 2. AとC 3. AとD 4. BとC
5. BとD 6. CとD

問 23. 免疫電顕法の包埋後染色法(post-embedding
method)について正しいのはどれか。

- A. ペルオキシダーゼ標識法が主に使われる
B. 包埋樹脂を完全に除去する必要がある
C. 細胞内の抗原の検出も可能である
D. 包埋には低温重合樹脂がよく使用される
1. AとB 2. AとC 3. AとD 4. BとC
5. BとD 6. CとD

問 24. 超薄切片をニッケルグリッドに載せた後、抗原 X
の細胞内局在を検出したい。手順として正しいのは
どれか。

- A. グルタルアルデヒド固定
B. 電子染色
C. ウシ血清アルブミン処理
D. コロイド金標識抗ウサギ IgG 反応